

令和8年度（第36期）

丹波の森大学

学習基本テーマ「森のリノベ」

受講生募集

もりびとになろう



公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600
丹波の森公苑内

TEL:0795-73-0933

FAX:0795-86-8510



森文化の揺籃!丹波の森大学

昭和63年に、豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が、多くの住民の署名のもとに採択されました。

これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして宣言採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた、新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学も、新しい時代のなかで個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として生まれ変わりました。多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座にご期待ください。



学長
角野 幸博
関西学院大学 名誉教授
丹波の森研究所 所長

学長から一言

丹波の森大学では、年度ごとに基本テーマを決めて、そこに多様な切り口でアプローチします。

令和8年度も、大学などで教育・研究を行いながら、地域づくりの第一線で活躍されている講師に登壇していただきます。また、ゼミ形式を取り入れて講師と受講生が相互に議論したり発表したりする機会を設けます。

若者や仕事をお持ちの方など、様々な世代の方に受講していただくことができます。講義を聴くだけでなく、現地学習の機会もあります。地域で学び、そして地域づくり活動に関わることの醍醐味を味わってみてはいかがでしょうか。

丹波の森大学学長 角野幸博

学習の基本テーマと講師紹介

学習の基本テーマ 森のリノベ

第36期の通年テーマは「森のリノベ」です。リノベーションという言葉があります。建築の世界では、古い建物を改修して新しい命を吹き込むことを意味します。もとの建物の魅力やデザインを深く学び、それを活かしながら次の世代に繋ぐこと、若い世代は近年これを「リノベ」と呼んで熱心に取り組んでいます。建物だけではなく、まちも自然もリノベを繰り返しながら、くらしと生命を引き継いできたとはいえないでしょうか。丹波の里山やまちをどのようにリノベしていけば、その魅力を正しく次の世代に伝えることができるのか、一緒に考えてみましょう。

第1回 5月23日(土)

開講式(10時00分~)
10時30分~12時00分
丹波の森公苑
多目的ルーム



Yukihiko Kadono

角野 幸博

丹波の森大学 学長
関西学院大学 名誉教授
丹波の森研究所 所長

講義テーマ

「まちなかのリノベ」

第2回 6月20日(土)

10時00分~11時30分
丹波の森公苑
多目的ルーム



Keiko Oshida

押田 佳子

日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授

講義テーマ

「上野の森が出来るまで
—徳川家菩提寺から日本初の公園へ—」

第3回 7月4日(土) 10時00分～11時00分

丹波の森公苑
多目的ルーム



Makoto Demachi
出町 慎

特定非営利活動法人佐治倶楽部 代表理事

講義テーマ 「空き家のリノベーションを通して
何をデザインしていくのか？」



Takaya Adachi 11時00分～12時00分
安達 鷹矢

株式会社Local PR Plan 代表取締役
創造的職人宿場町福住事業協同組合 代表理事
兵庫県 地域再生アドバイザー

講義テーマ
「地域内総生産(GAP)の向上とリジェネラティブな町なみの再生
～創造的職人を核とした特定地域づくり事業協同組合の戦略的展開～」

第4回 8月22日(土) 10時00分～11時30分

丹波の森公苑
多目的ルーム



Takeshi Hirakushi
平櫛 武

有限会社さとまちデザイン研究所 取締役
キタイ設計株式会社経営企画本部 部長
(一社)建設コンサルタンツ協会環境配慮専門委員会 副委員長
「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会 委員
兵庫県持続可能な多自然地域づくりプロジェクト検証・
次期施策検討会 座長 (2025年度)

講義テーマ
「地域団体の関係性を再構築するファシリテーション技術とは？」

オプション講習「養成ゼミ」の参加(無料)

丹波の森大学の参加者には、ファシリテーション技術を
身につける実技講習「養成ゼミ」に参加することができます。

講師：平櫛 武(第4回講義)

〈1回目〉9月11日(金) 13時30分～16時30分
丹波篠山市民センター催事場①②

テーマ
「地域で話を引き出す技術」リレー・ファシリテーション
進行役とファシリテーターの違いをご存知ですか？地域住民と話をす
る際に必要となる、実践技術の基礎的な実践ワークショップです。

〈2回目〉10月9日(金) 13時30分～16時30分
丹波篠山市民センター催事場①②

テーマ
「地域で話を集約する技術」ローリング・ファシリテーション
地域意見を重みづけし、課題抽出するなど、地域住民の合意形成を行う
際に必要となる、実践技術の応用的な実践ワークショップです。

〈3回目〉10月23日(金) 13時30分～16時30分
丹波の森公苑 多目的ルーム

テーマ
「地域で話す場をつくる技術」サバイバル・ファシリテーション
本番さながらの実践訓練型であり、地域住民とワークショップを行う場
を考えるために必要となる、実践技術の応用的な実践ワークショップで
す。

〈4回目〉11月27日(金) 13時30分～16時30分
丹波の森公苑 多目的ルーム

テーマ
「地域で話を見える化する技術」レコード・ファシリテーション
みんなで伝えて、みんなで描こう！地域住民から聞いた話を記録する
際に必要となる、実践技術の基礎的な実践ワークショップです。
受講者のゼミ報告を活用します。

第5回 9月5日(土) 10時00分～11時30分

丹波篠山市民センター
多目的ホール

公開講座



Mayumi Yokoyama
横山 真弓

兵庫県立大学 教授
兵庫県森林動物研究センター 研究部長
兵庫県立人と自然の博物館 研究員

講義テーマ
「野生動物はなぜ人里に出没するのか？」

第6回 9月19日(土) 10時00分～11時30分

丹波の森公苑
多目的ルーム



Shigeaki Takeda
武田 重昭

大阪公立大学大学院
農学研究科緑地環境科学専攻
緑地計画学研究室 准教授

講義テーマ
「ランドスケイピングーまちと暮らしの景観学ー」

第7回 11月6日(金)

現地学習 京都府舞鶴市赤れんが博物館 他



舞鶴市には、1901(明治34)年に旧海軍舞鶴鎮守府が開かれたころ海軍が
建設した、多くのれんが建造物が残り、100年をこえる時の流れのなか
で、赤れんが建造物の美しさは深まり続けています。

※参加費(バス代、入館料等)が必要

第8回 12月12日(土) 閉講式(11:30～)

10時00分～11時30分
丹波の森公苑
多目的ルーム



Tomoki Takada
高田 知紀

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授
兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員

講義テーマ
「地域を豊かにする神社コミュニティの再生」

特別講座

丹波の森公苑
多目的ルーム

10月中旬に

「国際フォーラム」

を予定しています(詳細は後日発表)

会場地図



丹波の森公園



丹波篠山市民センター

丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であつて、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

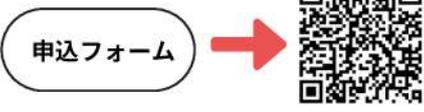
昭和 63 年 9 月 1 日

募集案内

定員	講座回数	受講料	その他
60名 (先着順)	8回 ☆養成ゼミコース4回	8,000円 (学生は無料)	☆修了者(5回以上の受講生)には学長より修了証書を交付します。 ☆2歳~就学前のお子様の託児をご希望の方は事前予約が必要です。

受講申込方法

- ① 受講申込書(別紙)に、必要事項を記入の上、事務局までお持ちいただくか、または郵送、FAXでお申し込みください。
- ② 申込フォーム(QRコード)より申し込みいただく場合は、右記のQRコードを読み取り、フォームに従って送信してください。
- ③ 申込締切 5月20日(水)



※定員を超えた場合は、募集期間内であっても募集を終了させていただく場合があります。
※ご記入いただいた個人情報は、安全かつ厳重に管理します。

申込・問合せ先

公益財団法人 兵庫丹波の森協会「丹波の森大学」事務局 丹波の森公園内1階
〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600
TEL: 0795-73-0933 FAX: 0795-86-8510

※本大学は学校教育法に定める大学ではありません。